

高知県感染症発生動向調査（月報）

2018年2月

高知県感染症情報センター
 高知県衛生研究所
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第5週(1月29日～)から第8週(～2月25日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。

全国における2月の上位6疾患の合計は185.80で1月の181.1と比べ横ばいであった。インフルエンザの流行は1月と同じ勢いで2月も続いた。1位はインフルエンザで152.00(1月1位147.03)で横ばいだった。今季の流行株は、2017年47～51週の全国集計では、AH1pdm09が最多で59.3%、次いでB/Yamagataが26.4%、A香港H3が13.0%、B(系統不明)が0.9%、B/Victoriaが0.4%の順であった。52週～2018年4週の全国集計では、勢力が入れ替わり、B/Yamagataが44.8%と最多となり、次いでAH1pdm09が28.3%、次いでA香港H3が23.3%と増加し、B/Victoriaが2.4%、B(系統不明)が1.2%の順となった。5週～9週は、B/Yamagataが63.6%とさらに増え、次いでAH3が26.1%、AH1pdm09が8.1%とA型の順位が入れ替わり、次いでB/Victoriaが1.7%、B(系統不明)が0.6%の順であった。優勢のウイルス株が目まぐるしく変動するのも今季流行の特徴のようである。

2位は感染性胃腸炎で18.69(同2位19.95)と横ばい、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.99(同3位8.14)とわずかに増加し、4位は流行性角結膜炎で2.34(同4位2.73)とわずかに減少した。5位はRSウイルス感染症で1.57(同5位1.85)と微減、6位は突発性発疹で1.21(同8位1.23)と横ばいだった。

2018年1月から百日咳は定点把握から全数把握疾患となったので、この順位表にはデータが現れない疾患となったかわりに報告例を巻末に掲載した。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	5週	6週	7週	8週	計
1	インフルエンザ		54.33	45.38	29.65	22.64	152.00
2	感染性胃腸炎		5.11	4.72	4.05	4.81	18.69
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.61	2.63	2.10	2.65	9.99
4	流行性角結膜炎		0.64	0.59	0.51	0.60	2.34
5	RSウイルス感染症		0.45	0.40	0.36	0.36	1.57
6	突発性発疹		0.30	0.30	0.29	0.32	1.21

県内情報

全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の2月の上位6疾患の合計は234.87で1月の189.96に比べて増加し、全国を上回った(表2)。増加の主因は、インフルエンザの大規模かつ爆発的な流行である。2017/18シーズン全体として大きな流行となり、パンデミックの2009/1010シーズンを上回る見込みである。定点当たり報告数の都道府県別集計で、高知県は211.94という高い値を示し、2月は全国第一位の流行であった。今季の流行の特徴は、インフルエンザB型の検出率が流行開始当初から多い点で、2018年の第1週は40.3%であったのが、第5週には72%、第9週も66.9%と2/3を占めていた。例年はA型の流行が先行し、遅れて春先にB型が流行することが多いのと対照的である。

1位はインフルエンザで211.94(同1位168.25)とさらに増加し全国都道府県別で最多であった。2位は感染性胃腸炎で12.97(同2位11.86)と横ばい、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で6.24(同3位5.40)と微増し、全国よりも少なかった。4位はRSウイルス感染症で1.69(同5位1.56)と横ばいで全国と同等であった。5位は手足口病で1.14(同4位1.90)と減少したが全国よりも多かった。6位は突発性発疹で0.89(同7位0.97)と横ばいで全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	5週	6週	7週	8週	計
1	インフルエンザ		66.19	67.67	45.81	32.27	211.94
2	感染性胃腸炎		3.07	2.87	3.20	3.83	12.97
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.67	1.87	1.20	1.50	6.24
4	RSウイルス感染症		0.53	0.40	0.33	0.43	1.69
5	手足口病		0.23	0.37	0.27	0.27	1.14
6	突発性発疹		0.30	0.33	0.13	0.13	0.89

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 10,173名(1月 8,076名)。今季は全国よりも遅れて流行期に突入した。高知県全体として2018年の第2週に31.73と警報レベルを超えた。12月はパンデミックの流行時(2009年)に次いで多い報告数であり、このことは早い流行となったことを意味していた。1月は過去10年の全ての月別統計のなかで2015年1月の9,139人に次いで2番目に多い報告数であった。2月はさらに増加し、月別で最多の記録をぬり替えた。2017/18シーズン全体としての流行規模も大きなものとなり、驚くべきことにパンデミックの2009/1010シーズンを上回る見込みである。定点当たり報告数の都道府県別集計で、高知県は211.94という高い値を示し、2月は全国第一位の数字となった。週毎にみると5週66.19、6週67.67、7週45.81、8週が32.27なので、流行のピーク期を越えつつあるようだ。県下全域で警報値30をはるかに超えており、特に多いのは幡多、中央西、須崎、高知市の順である。

今季の流行の特徴はインフルエンザB型の検出率が流行開始時から多い点である。例年はA型の流行が先行し、遅れて春先にB型が流行することが多いのと対照的である。ウイルスはAH3 NTが12件(1月17件)、B/Yamagataが9件(同21件)、AH1pdm09が3件(同28件)、B/Victoriaが1件(同3件)検出された。今季は複数回インフルエンザに罹患する者が多く出る可能性が示唆され、実際にA型→B型、B型→B型というふうに関今季2回インフルエンザに罹患する患者を多く診るようになってきている(A型→A型の例は、筆者はまだ耳にしていない)。全国情報の項に記載したように、優勢のウイルス株が目まぐるしく変動するのも今季流行の特徴かもしれない。

2) 咽頭結膜熱

報告数 17名(1月 12名)。この時期としては平年並みの数である。高知市、中央東、須崎から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 187名(1月 162名)。平年並みの報告数である。県下全域から報告があり、高知市、幡多、安芸からの報告が多い。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 389名(1月 356名)。前月に引き続いて、この時期として過去10年間で最も少ない報告数で、県下全域から報告があり、とくに安芸、中央東、高知市、幡多からの報告が多い。病原体は、1月搬入検体からNorovirus GII NTが2件、Sapovirus が1件検出された。

5) 水痘

報告数 20名(1月 24名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で減少している。2016年12月に一時増加したものの、その後減少して推移している。安芸、中央西、高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 34名(1月 57名)。初夏に流行が始まる感染症で、今季は5月からとやや早い流行開始となり、過去10年で最大の流行となった。7月は同時期として過去10年間で2010年に次ぐ2番目に多い報告数で、高知県全域で警報値5を大きく超えていた。8月以降は徐々に減少したが10月に下げ止まり、11月は再び増加したが12月以降は減少に転じ1月は横ばい、2月は減少した。安芸、高知市、中央西、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。ウイルスはCoxsackievirus A6が5月に8件、6月に16件、7月に10件、8月、9月に各2件検出され、9月はCoxsackievirus A16が1件、Enterovirus 71が1件、10月はEnterovirus 71が4件、11月はEnterovirus 71が2件とCytomegalovirusが1件、12月はEnterovirus 71が1件とCytomegalovirusが1件、1月はEnterovirus 71が2件とEpstein-Barr virusが1件それぞれ検出された。2月はウイルスは検出されなかった。今季は3種類の原因ウイルスが流行し、9~1月の流行を形成したのはEnterovirus 71であったが、危惧される脳幹脳炎の報告はされていないようである。

7) 伝染性紅斑

報告数 4名(1月 5名)。2015年以降、全国的に例年に比べてやや多い数で推移していたが、2017年の後半以降は同時期として平年並の報告数である。中央西、中央東、高知市から報告された。ウイルスは検出され

ていない。

8) 突発性発疹

報告数 27名 (1月 29名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 2名 (1月 1名)。例年6-7月から流行がみられるが、今季は5月から流行が開始し、6月7月と増加、8月から減少に転じ、10月11月と再び増加していたが、12月に減少し終息した。中央西と幡多から1例ずつ報告された。ウイルスは検出されていない。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 1名 (1月 1名)。高知市から1名報告されたが、ウイルスは検出されていない。

12) RSウイルス感染症

報告数 51名 (1月 47名)。8-9月と季節外れの爆発的流行となった。9月は過去10年間で月間報告数が最多であったが10月は減少に転じ11月以降は半減が続いた。1月2月は横ばいであった。安芸を除く全域から報告されたが、特に高知市、中央西、須崎が多かった。2月にウイルスは検出されていない。7月以降に検出されたウイルスを集計するとRSウイルスAが6件、Bが3件であった。夏季に流行が起きても冬季に再度流行する年が多く注意をようするものの、今のところ報告数の増加はみとめられていない。

13) 流行性角結膜炎

報告数 2名 (1月 3名)。ここ3年間は一桁で推移している。ウイルスは検出されていない。

14) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (1月 0名)。60歳代後半の例が報告された。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

15) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (1月 0名)。高知市で30歳代後半の例が報告された。2月はウイルスは検出されていない。

16) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 6名 (1月 7名)。高知市と幡多から報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 20名 (1月 20名)。例年並みの数で推移している。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (1月 0名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例の報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患 (平成30年2月)

類型	病名	報告月		総計
		1月	2月	
2	結核	4	11	15
4	レジオネラ症		1	1
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	3
	後天性免疫不全症候群	2		2
	ジアルジア症		1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	3	9
	播種性クリプトコックス症	1	2	3
	梅毒	3	1	4
	百日咳	13	24	37
	総計	32	45	77

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2018年 2月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	358	1,878	3,555	1,313	908	2,161	10,173	8,076	7,196
小児科	咽頭結膜熱		4	12		1		17	12	32
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	9	129	6	4	29	187	162	302
	感染性胃腸炎	36	122	135	23	16	57	389	356	747
	水痘	6	2	7	4		1	20	24	30
	手足口病	5	5	17	3		4	34	57	4
	伝染性紅斑		2	1	1			4	5	16
	突発性発疹	1	1	19	2	2	2	27	29	30
	ヘルパンギーナ				1		1	2	1	1
	流行性耳下腺炎			1				1	1	30
	RSウイルス感染症		7	28	6	4	6	51	47	61
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2				2	3	1
STD	性器クラミジア感染症			1				1	3	
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎			1				1		
	無菌性髄膜炎			1				1		2
	マイコプラズマ肺炎			5			1	6	7	10
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1	3	
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限り)		1	3			2	6		3
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	1	14				20	20	11
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		421	2,032	3,932	1,359	935	2,264	10,943	8,806	8,479
前月		384	1,556	3,467	1,118	704	1,577			
前年同月		368	1,548	3,506	1,076	664	1,317			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

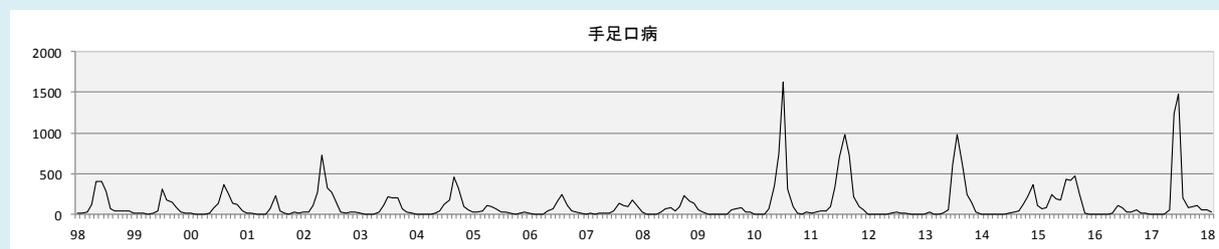
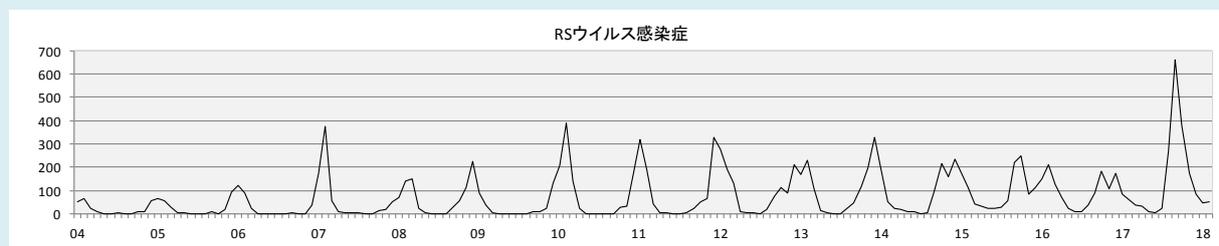
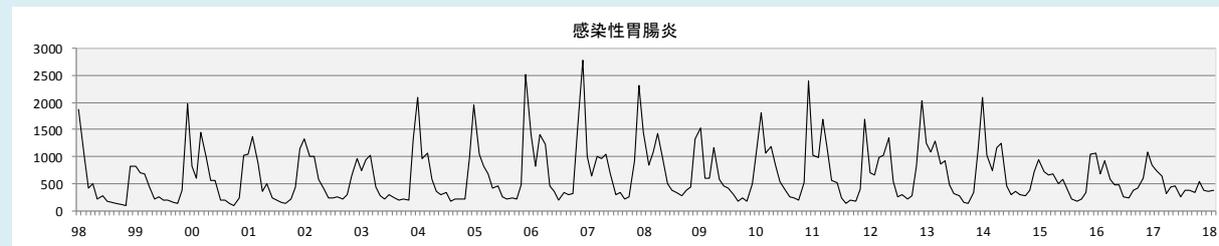
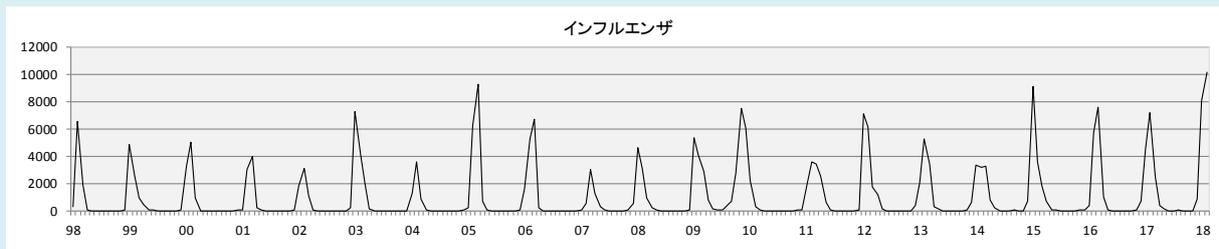
2018年

2月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	89.50	170.73	222.19	262.60	227.00	270.14	211.94	168.25	149.92
小児科	咽頭結膜熱		0.56	1.09		0.50		0.57	0.40	1.06
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.00	1.28	11.72	2.00	2.00	5.80	6.24	5.40	10.07
	感染性胃腸炎	18.00	17.43	12.27	7.67	8.00	11.40	12.97	11.86	24.91
	水痘	3.00	0.29	0.63	1.33		0.20	0.66	0.80	0.99
	手足口病	2.50	0.72	1.53	0.99		0.80	1.14	1.90	0.13
	伝染性紅斑		0.28	0.09	0.33			0.13	0.16	0.53
	突発性発疹	0.50	0.14	1.72	0.66	1.00	0.40	0.89	0.97	1.01
	ヘルパンギーナ				0.33		0.20	0.06	0.03	0.03
	流行性耳下腺炎			0.09				0.03	0.03	1.00
	RSウイルス感染症		1.00	2.55	2.01	2.00	1.20	1.69	1.56	2.03
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2.00				0.66	0.99	0.33
STD	性器クラミジア感染症			0.50				0.17	0.50	
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.25
	マイコプラズマ肺炎			1.00			1.00	0.76	0.89	1.26
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.13	0.38	
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限り)		1.00	0.60			2.00	0.76		0.39
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5.00	1.00	2.80				2.50	2.50	1.38
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		118.50	192.43	253.88	277.92	240.50	290.14	236.32	191.36	191.78
前月		110.25	148.92	223.81	228.39	182.50	205.18			
前年同月		108.75	152.30	231.96	231.85	178.75	185.82			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

平成30年2月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

2月はウイルス 43件の搬入があり、そのうちウイルス 28件の病原体を検出し、また、平成30年1月に搬入された検体でウイルス 8件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Enterovirus 71 1件、Epstein-Barr virus 1件、Human herpes virus 6 1件、human metapneumovirus 3件、Influenza virus A H1pdm09 3件、Influenza virus A H3 NT 12件、Influenza virus B/Victoria 1件、Influenza virus B/Yamagata 9件、Norovirus GII NT 2件、Parainfluenza virus 2 1件、Respiratory syncytial virus A 1件、Sapovirus genogroup unknown 1件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス, 細菌の検出
1	4	男	手足口病	水疱, 口内炎,	ぬぐい液	1/12	Enterovirus 71
2	1	男	感染性胃腸炎	38°C, 嘔吐, 嘔気,	ふん便	1/17	Norovirus GII NT
3	9ヶ月	男	RSウイルス感染症	39°C, 咳嗽, 気管支炎,	鼻腔	1/22	Respiratory syncytial virus A
4	2	男	気管支炎	38°C, 咳嗽, 気管支炎,	ぬぐい液	1/23	Human metapneumovirus
5	2	女	不明熱	39°C, 咳嗽,	ぬぐい液	1/23	Parainfluenza virus 2
6	13	女	感染性胃腸炎	腹痛,	ふん便	1/24	Sapovirus genogroup unknown
7	2	女	下気道炎	40°C, 下気道炎,	ぬぐい液	1/25	Human metapneumovirus
8	4	女	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐, 嘔気,	ふん便	1/27	Norovirus GII NT
9	59	女	インフルエンザ	—	ぬぐい液	1/30	Influenza virus A H3 NT
10	11	女	上気道炎	39°C, 上気道炎,	ぬぐい液	2/1	Influenza virus B/Yamagata
11	1	男	インフルエンザ	39°C, 咳嗽, 上気道炎,	ぬぐい液	2/1	Influenza virus B/Yamagata
12	14	男	インフルエンザ	39°C, 上気道炎,	ぬぐい液	2/2	Influenza virus A H3 NT
13	13	女	インフルエンザ	39°C, 上気道炎,	ぬぐい液	2/5	Influenza virus A H3 NT
14	4	女	インフルエンザ?	39°C, 下痢, 咳嗽,	ぬぐい液	2/6	Influenza virus B/Yamagata
15	1	男	肺炎	40°C, 肺炎,	鼻汁	2/7	Human metapneumovirus
16	8	男	インフルエンザ	—	ぬぐい液	2/7	Influenza virus A H1pdm09 Influenza virus B/Yamagata
17	4	男	インフルエンザ	40°C, 咳嗽, 上気道炎,	ぬぐい液	2/7	Influenza virus A H3 NT
18	4	女	インフルエンザ様疾患	41°C, 肝機能,	鼻咽頭	2/10	Epstein-Barr virus
19	1	男	インフルエンザ	40°C, 咳嗽,	ぬぐい液	2/13	Influenza virus A H1pdm09
20	15	男	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	2/13	Influenza virus A H3 NT
21	6	男	インフルエンザ	39°C, 上気道炎,	ぬぐい液	2/13	Influenza virus B/Victoria
22	4	女	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	2/14	Influenza virus A H1pdm09
23	6	女	インフルエンザ	39°C, 上気道炎,	ぬぐい液	2/14	Influenza virus A H3 NT
24	10	女	インフルエンザ	38°C, 嘔吐, 嘔気, 咳嗽, 上気道炎,	ぬぐい液	2/16	Influenza virus B/Yamagata
25	76	男	インフルエンザ	38°C,	ぬぐい液	2/17	Influenza virus A H3 NT
26	5	男	突発性発疹ん疑い、中枢神経感	—	髄液	2/17	Human herpes virus 6
27	5	男	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	2/19	Influenza virus A H3 NT
28	9	男	インフルエンザ	40°C, 嘔吐, 嘔気, 咳嗽, 上気道炎,	ぬぐい液	2/19	Influenza virus B/Yamagata
29	11	女	インフルエンザ	38°C, 咳嗽, 下気道炎,	ぬぐい液	2/19	Influenza virus B/Yamagata
30	6	女	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	2/20	Influenza virus A H3 NT
31	4	男	インフルエンザ	39°C, 咳嗽,	ぬぐい液	2/21	Influenza virus A H3 NT
32	5	男	インフルエンザ	39°C, 咳嗽, 上気道炎,	ぬぐい液	2/23	Influenza virus B/Yamagata
33	3	男	インフルエンザ	39°C, 咳嗽, 肺炎,	吸引鼻汁	2/26	Influenza virus B/Yamagata
34	50	女	インフルエンザ	37°C,	ぬぐい液	2/26	Influenza virus A H3 NT
35	2	男	インフルエンザ	39°C, 咳嗽, 上気道炎,	ぬぐい液	2/26	Influenza virus A H3 NT

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2017年												2017年 総計	2018年		2018年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2		
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus agalactiae</i>		1												1			
	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>		1												1			
	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>											1		1	2			
	<i>Streptococcus pyogenes Untypable</i>		2			1									2			
	Echovirus 9							1							1			
	計		4			1		1					1	3	10			
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	22	19	7	6				4					1	59	17	12	29
	Influenza virus A H1pdm09	2	2	1	1										6	28	3	31
	Influenza virus B /Victoria	1	2	1	1									2	7	3	1	4
	Influenza virus B Yamagata		1		1	1								2	5	21	7	28
	計	25	24	9	9	1			4					5	77	69	23	92
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1												1	1	1		1
	Adenovirus 2			1		1								1	3	1		1
	Adenovirus 3			1											1			
	Echovirus 9			1											1			
	Human herpes virus 6			1											1			
	計	1		4		1								1	7	2		2
感染性胃腸炎	Adenovirus 1					1									1			
	Adenovirus 2			2						1		1	1	1	5			
	Adenovirus 3								1						1			
	Adenovirus 41					1			1						2			
	Astrovirus NT		2												2			
	Coxsackievirus B1			1											1			
	Coxsackievirus B4								1	2					3			
	Echovirus 3												1		1			
	Echovirus 9								2						2			
	Echovirus 25						1								1			
	Human herpes virus 6					1									1			
	Norovirus GII NT	9	3	3					9	5	1	2	4	36	5			5
	Parecho virus 1										1			1	1			
	Rhinovirus	1													1			
	Rotavirus group AG3							2							2			
	Rotavirus group AG9	2													2			
	Rotavirus group A NT				1										1			
Sapovirus genogroup unknown	1		1			1					1			4	2		2	
<i>Campylobacter jejuni</i>													1	1				
<i>Staphylococcus aureus V</i>			1											1				
<i>Salmonella Thompson</i>						1								1				
	計	13	5	8	1	3	5	14	8	3	5	5	70	7			7	
ヘルパンギーナ	Adenovirus 2							1						1				
	Coxsackievirus A6						4	2						6				
	Coxsackievirus A10										1	1		2				
	Coxsackievirus B5											1		1				
	Human herpes virus 6								1					1				
	Human herpes virus 7						1							1				
	計						5	3	1		1	2	12					
手足口病	Adenovirus 2					1								1				
	Coxsackievirus A6					8	16	10	2	2				38				
	Coxsackievirus A16										1			1				
	Cytomegalovirus					1		1	1			1	1	5				
	Enterovirus 71									1	4	2	1	8	2		2	
	Echovirus 7					2								2				
	Echovirus 9						1	2	1					4				
	Epstein-Barr virus															1		1
	Human herpes virus 6							1		1		2		4				
	Human herpes virus 7										2		1	3				
	計					12	18	13	5	4	8	3	3	66	3		3	
流行性角結膜炎	Adenovirus 2																	
	計																	
伝染性紅斑	Echovirus 9								1					1				
	Human herpes virus 7	1	1											2				
	human parvovirus B19							1						1				
	計	1	1					1	1					4				
百日咳	<i>Bordetella pertussis</i>	2	1	2	1	1			1					8				
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	2	2											4				
	計	4	3	2	1	1			1					12				
流行性耳下腺炎	Mumps virus																	
	計																	
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4														1		1	
	Echovirus 9								2	2				4				
	Human herpes virus 6				1									1				
	Human herpes virus 7				1				3					4				
	Varicella-zoster virus		1				1							2				
	計		1		2		1	5	2					11	1		1	

臨床診断名	病原微生物	2017年												2017年 総計	2018年		2018年 総計		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2			
マイコプラズマ肺炎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>																		
	計																		
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus A																1	1	
	Respiratory syncytial virus B								1								1		
	Coxsackievirus B4								1								1		
	計								2							2	1	1	
水痘	Varicella-zoster virus													1		1			
	計													1		1			
突発性発疹	Cytomegalovirus					1										1			
	Human herpes virus 6				1			2								3	1	1	
	計				1	1		2								4	1	1	
その他	Adenovirus 1	1											1			2			
	Adenovirus 2							2		1				2		5	1	1	
	Adenovirus 3	1														1			
	Adenovirus 4									1						1			
	Adenovirus B									1						1			
	Coxsackievirus A2	1										1				2			
	Coxsackievirus A6						3		3							6			
	Coxsackievirus A10													1		1			
	Coxsackievirus B1													1		1			
	Cytomegalo virus	3			2	1		1			1	1	1	1	10	1		1	
	Echovirus 3			1						1					2	4			
	Echovirus 7					3	5	1								9			
	Echovirus 9						3	8	9							20			
	Echovirus 18													1		1			
	Enterovirus NT									3						3			
	Epstein-Barr virus	1				1		1								3	1	1	2
	Herpes simplex virus 1									1				6		7	1		1
	Human herpes virus 6	1			1	2		2	2	2	3	4			17	2	1	3	
	Human herpes virus 7	2	1	1	1				1	2		4	1		13	1		1	
	Human metapneumovirus		1							1				2	4	3	1	4	
	Influenza virus A H1pdm09															1		1	
	Influenza virus B Yamagata																2	2	
	Norovirus GII NT		1											1		2	1		1
	Parainfluenza virus 2										1					1	1		1
	Parainfluenza virus 3				1	2	4	1		1						9			
	Parechovirus 1									1		1				2			
	Respiratory syncytial virus A		1								3	2				6			
	Respiratory syncytial virus B											2				4			
	Rhinovirus	1	1	1	1	3		2	1							10			
	Sapovirus genogroup unknown					1										1			
	Varicella-zoster virus								1							1			
	<i>Bordetella pertussis</i>										1					1			
	計	12	5	3	7	16	12	22	19	14	10	18	10	148	13	5	18		
	総計	56	43	28	21	36	42	48	47	26	22	29	28	424	97	28	125		

